

2022年5月24日

株式会社アイ・エス・ビー

VECTANT SDM、Microsoft Teams とサービス連携

株式会社アイ・エス・ビー（本社：東京都品川区、代表取締役社長：若尾一史 以下、当社）が提供しますモバイルデバイス管理（以下 MDM）サービス「VECTANT SDM」は、コラボレーションツール Microsoft Teams とのサービス連携を開始いたしました。

Microsoft Teams × VECTANT SDM

1. 連携の概要

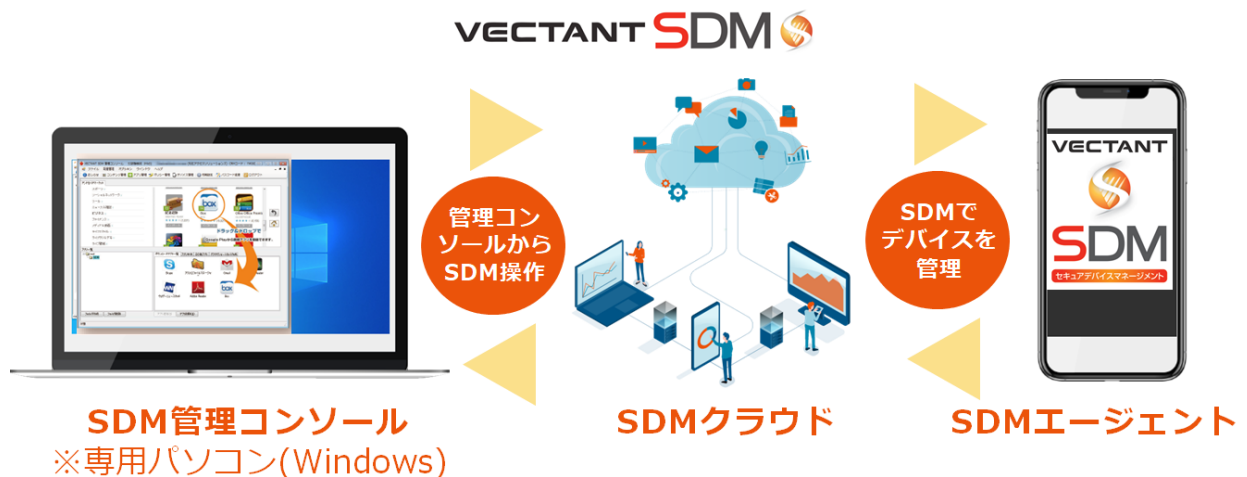
「テレワークセキュリティガイドライン」(※1)に記載されているように、テレワーク端末の紛失・盗難の際に遠隔制御でデータ保護が可能な MDM の導入を求められています。このような中、ユーザーインターフェースを向上するために、「VECTANT SDM」に Microsoft Teams を連携させたサービスを開始いたしました。これにより、従来は「VECTANT SDM」の管理コンソールをインストールした、専用 PC から制御していたデバイス管理機能が、Microsoft Teams の Bot(※2)からも利用可能となり、Microsoft Teams が利用できる全てのデバイスから「VECTANT SDM」を利用できるようになりました。専用 PC が設置してある場所に限らず、様々なデバイスや場所から「VECTANT SDM」を利用することで、場所や時間を有効に活用できる働き方が実現できます。

(※1) テレワークセキュリティガイドライン

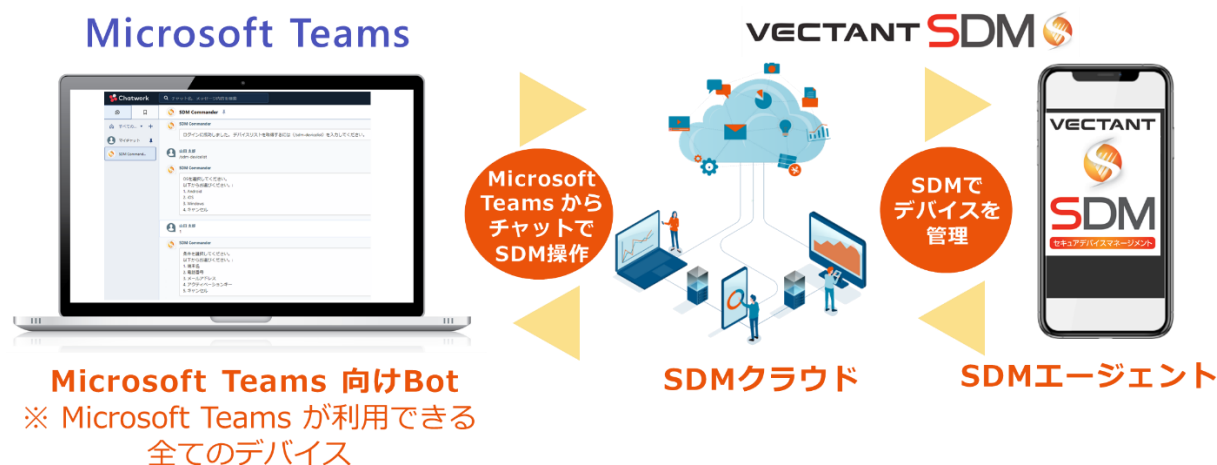
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/telework/

(※2) 「Bot（ボット）」指定された内容に対し自動的に処理を行うアプリケーションやプログラムの総称

- 従来の「VECTANT SDM」の場合



- 新しく Microsoft Teams サービス連携した場合



<Microsoft Teams 連携機能>

- ・デバイス一覧取得 (Android/iOS/Windows)
 - ・ショートメッセージ送信 (Android/iOS)
 - ・画面ロック (Android/iOS/Windows)
- ※Android Enterprise は非対応です。

2. 今後の展開

Microsoft Teams と連携したサービスは、今後もお客様の声を聴きながら適宜増やしていく予定です。

当社の「VECTANT SDM」サービスにつきましては、引き続き機能拡充並びに、他サービスとの連携を強化し、お客様に満足していただけるサービスを提供していきます。

● Microsoft Teams について

会議、チャット、音声、通話、共同作業といったリモートワークに必要なコミュニケーション手段を1つのツールに集約しているのが Microsoft Teams の特長です。さらにはコラボレーションプラットフォームとして、Excel や PowerPoint をはじめとする Microsoft 365 Apps との連携はもちろんのこと、電子署名やオンライン名刺、ピアボナーナなどサードパーティーの事業者様が提供しているサービスと連携できる仕組みを備えているため、業務に応じて、カスタマイズや機能拡張をすることができます。

● 本製品について

スマートフォンやタブレット端末の設定管理、および有効活用のために必要な機能を提供している MDM サービスです。デバイス管理 (MDM) に加え、アプリ管理 (MAM)、コンテンツ管理 (MCM) も可能なエンタープライズモビリティ管理 (EMM) サービスです。

VECTANT SDM

<https://sdm.isb.co.jp/>

◆本件に関する販売・技術的なお問い合わせ先：
(株)アイ・エス・ビー サービスプラットフォーム推進部
TEL 03-6893-2001
連絡先：<https://sdm.isb.co.jp/contact.html>

◆本記事に対するお問い合わせ先：
(株)アイ・エス・ビー 管理本部
TEL 03-3490-1761 (代)
連絡先：ml-isb-info@isb.co.jp
Web：<https://www.isb.co.jp/contact-us/>

- ※ 本ニュースリリース記載の会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
- ※ VECTANT はアルテリア・ネットワークス株式会社の登録商標です。
- ※ 記載された内容は、2022年5月24日 現在のものです。